

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	村田 知子

開催日時	令和 5 年 11 月 17 日(金) 13:30～15:30
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室
出席者(委員)	松下 寛史(副会長)、菊地 栄治(委員)、浅岡 美和(委員)、塚本 佳秀(委員)
出席者(学校)	校長、事務長、教頭2名、首席2名、教諭2名、実習教員1名
協議資料	大阪府立布施北高等学校 スクール・ポリシー

議題等(次第順)	
○授業見学について	
○決定したスクール・ポリシーの確認	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
○授業見学について 【13:35～14:15、1年生「キャリア基礎」、2年生帰国・渡日生「歴史総合」、3年生帰国・渡日生「現代社会」を見学】 《委員より》 ・生徒の発表を聞いて、いい発想をしていると感じた。大人では思いつかないような柔軟な発想が良かった。 ・また、1人1台端末を活用した授業を見ることができ、自身が学生の頃との変化に驚いた。 ・教師と生徒だけでなく生徒同士でも意見を出し合う、交流できる雰囲気があった。 ・生徒が楽しいと思える授業、と見ていて感じた。 ・昨年度も見学したが、今年度はさらに生徒が元気で、アットホームな良い雰囲気があった。 ・帰国・渡日生の授業では、漢字にルビを打ち、生徒にあった授業の組み立てができていた。 ・帰国・渡日生徒が明るく授業を受けている姿が印象的であった。特に3年生は流暢に日本語を話していた。 ・キャリア基礎の授業では、「大人とは何か、社会人とは何か」という、大人でも難しい問いを立てていたがこの授業の目的は何か。 ・同じ内容の授業を行う、複数のクラスを見学したが、授業をする先生によって違った雰囲気になるのが興味深かった。 《学校より》 ・キャリア基礎は「正解が一つでない課題」に取り組むエンパワメントタイムという授業。社会で活躍するために必要な力を身に付けるため、正解不正解ではなく自分の意見を述べる、文章にする、発表する、他者の意見を聞き意見を擦り合わせるといった内容を含んでいる。 ・例年、卒業生を対象としたアンケートの「エンパワメントタイムの授業を通して、文章を書いたり発表したりすることで、自分に自信がついた」という設問に対して、およそ85%以上の生徒が肯定的な回答をしている。 ・キャリア基礎は発表する機会が多い授業。発表スライドをつくる生徒、それを使って発表する生徒がおり、それぞれ適材適所で能力を発揮できている。 ・エンパワメントタイムは教員の所持免許の教科とは違う授業。教員にとっても試される授業と感じている。 ○前回の学校運営協議会で意見をいただき、承認された「スクール・ポリシー」の確認。 ○その他 ・地域学校協働本部の報告。6月と10月に開催され、12月には業種別協議を含めたデュアル意見交換会が「協働本部」協力のもと開催される予定。今後も布施北高校を応援していくための体制づくりを充実させたい。	

次回の会議日程	
日 時	令和6年2月3日(土) 9 時 30 分から 11 時 00 分
会 場	大阪府立布施北高等学校